



福島医発第 2552 号 (地)

令和 6 年 1 月 12 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会 長 蓮 澤 浩 明

(公 印 省 略)

「第 13 回エコチル調査シンポジウム」のご案内について

今般、環境省環境リスク評価室より日本医師会を通じて、標記シンポジウム開催のお知らせがまいりました。

環境省においては、環境中の化学物質が子どもの健康にどのように影響するのかを明らかにし子どもたちが安心して健やかに育つ環境をつくるため、2011 年から、日本中で 10 万組の子どもたちとそこそ両親に参加していただく大規模な疫学調査「子どもの健康と環境に関する全国調査 (エコチル調査)」を実施されております。

本シンポジウムは、エコチル調査の取組や調査で得られた成果等を分かりやすくお伝えしエコチル調査について多くの方々に理解を深めていただくことを目的に同省が開催するものです。詳細は別添のチラシをご参照ください。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知いただくとともに、貴会会員への周知方よろしくお願いいたします。

小郡三井医師会より

地域環境保護担当理事 肥山淳一郎

会長 島田昇二郎

日医発第1693号（健Ⅰ）

令和5年12月26日

都道府県医師会
担当理事 殿

公益社団法人 日本医師会
常任理事 細川 秀一
(公印省略)

「第13回エコチル調査シンポジウム」のご案内

標記シンポジウムにつきまして、環境省環境リスク評価室より本会宛てに周知協力依頼が参りました。環境省は2011年から、日本中で10万組の子どもたちとそのご両親に参加していただく大規模な疫学調査「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」を実施しています。これは、環境中の化学物質が子どもの健康にどのように影響するのかを明らかにし、子どもたちが安心して健やかに育つ環境をつくるための調査です。本シンポジウムはエコチル調査の取組や調査で得られた成果等を分かりやすくお伝えし、エコチル調査について多くの方々に理解を深めていただくことを目的としています。下記及び別添のチラシもご参照ください。

つきましては、貴会会員ならびに貴会関係郡市区医師会への周知について、ご高配を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

記

【第13回エコチル調査シンポジウム】

開催日時：2024年2月18日（日）14：00～16：00 （13:00受付開始）

【会場】（事前登録必要、託児サービスあり、参加無料）

秋葉原コンベンションホール（JR秋葉原駅徒歩1分）

会場アクセス：<https://www.akibahall.jp/data/access.html>

参加申込フォームURL：<https://ws.formzu.net/dist/S151500646/>

【オンライン】（事前申込不要、参加無料）

<https://youtube.com/live/5WTwlg0gZoU>

シンポジウム開催報道発表URL：https://www.env.go.jp/press/press_02525.html

以上

いっしょにつくろう！ 私たちの未来、健康、支える環境

会場&オンライン開催

エコチル調査コアセンターオリジナルキャラクター エコロン&チルルン▶



第13回

子どもの健康と環境に関する全国調査

エコチル調査シンポジウム

エコチル調査は、環境中の化学物質が子どもの健康にどのように影響するのかを明らかにし、子どもたちが安心して健やかに育つ環境をつくるための調査です。

いがらし みき
五十嵐 美樹 さんむら やま きらり
村山 輝星 さん

エコチル調査は2011年にスタートし、調査がはじまった時にはお母さんのおなかの中にいた赤ちゃんも、2023年には最年長の方が12歳に。全国約10万組の親子のみなさまのご協力によって、健康と環境の関係についてたくさんことがわかってきました。今回はお子さまたちにも楽しんでいただけるサイエンスショーから始まり、調査でわかったことをご紹介します。お子さまも大人も、五十嵐さんときらりちゃんといっしょに私たちの未来、健康、環境について考えていきましょう！

プログラム

〈司会〉武田 真梨子(サイエンスコミュニケーター)

14:00

オープニング(環境省)

講演 1

(14:05~14:40)

サイエンスエンターテイナー 五十嵐美樹さんの
サイエンスショー with エコチル調査

お子さまにもオススメ!

来場者には記念品あり!
(小学生以下対象)

●共演

村山 輝星 さん

中山 祥嗣 さん

国立環境研究所エコチル調査コアセンター次長

調査でわかってきたこと 最近の研究成果を紹介!

●全体紹介

大矢 幸弘 さん

エコチル調査メディカルサポートセンター長

●発表(登壇順)

谷口 洋平 さん

エコチル調査兵庫ユニットセンター

大久保 公美 さん

国立環境研究所エコチル調査コアセンター

エコチル調査のこれまでとこれから

●コーディネーター

山縣 然太朗 さん

エコチル調査戦略広報委員会委員長

●ゲスト

五十嵐 美樹 さん

村山 輝星 さん

●パネリスト(五十音順)

上島 通浩 さん

エコチル調査運営委員会委員長

山崎 新 さん

国立環境研究所エコチル調査コアセンター長

山本 緑 さん

エコチル調査千葉ユニットセンター副センター長

パネル ディスカッション

(15:20~15:55)

15:55~16:00

クロージング(環境省)

開催日時

2024年

2月18日 日

14:00~16:00 (13:00受付開始)

※エコチル調査紹介の展示も実施(13:00~)

会場

秋葉原コンベンションホール

JR秋葉原駅 徒歩1分

▶アクセス

<https://www.akibahall.jp/data/access.html>

事前申込(託児申込あり)・参加無料

定員 100名程度(先着順)
申込締切 2月13日(火) 17:00

詳細・お申込▶申込フォームから
<https://ws.formzu.net/dist/S151500646/>

オンライン

事前申込不要・参加無料

●YouTubeライブ

<https://youtube.com/live/5WTwlg0gZoU>

お問合せ エコチル調査シンポジウム事務局

TEL▶03-3265-8810(9:30~17:30)

MAIL▶ecochil-sympo@ceis.or.jp

※本シンポジウムは、環境省からの業務委託により一般社団法人環境情報科学センターが事務局を務めております。

登壇者プロフィール



い が ら し み き 五十嵐 美樹 さん

サイエンスエンターテイナー
東京都市大学人間科学部特任准教授

講演1・パネルディスカッション

東京大学大学院修士課程修了。上智大学理工学部在学中に「ミス理系コンテスト」グランプリ受賞後、自身が科学に興味を持つきっかけとなった科学実験教室や講演を各地で行い、その感動を今の子どもたちに伝える活動を展開。特にヒップホップダンスで魅せる、おどるサイエンスショーは必見! NHK高校講座「化学基礎」出演。YouTubeチャンネルの登録者数2.27万人。公式Twitter(X)フォロワー2.3万人。



む ら や ま き ら り 村山 輝星 さん

タレント

講演1・パネルディスカッション

2010年4月東京都生まれ。中学1年在学中。5歳から芸能活動を開始。“きらりちゃん”の愛称で親しまれ、NHK Eテレ『えいごであそぼ with Orton』2017～2020年度のレギュラー出演をはじめとして、バラエティ番組やCMなど、メディア出演多数。10歳からYouTube『村山輝星のきらりチャンネル』を開設し、チャンネル登録者数は約1.29万人。



な か や ま し ょ う じ 中山 祥嗣 さん

国立環境研究所エコチル調査コアセンター次長

講演1

岡山大学医学部、大学院医学研究科卒業。専門は公衆衛生、環境保健、曝露科学。社会医学系専門医・指導医。2005年U.S.Environmental Protection Agency: EPAの招聘を受け、以降6年間、EPAで新規汚染物質の曝露評価およびリスク管理に携わる。2011年より国立環境研究所。エコチル調査を環境医学の面から支えるかたわら、曝露科学に関してEPAやEU、アジア諸国との共同研究を進めている。筑波大学大学院客員教授、聖路加国際大学連携大学院教授。

お お や ゆ き ひ ろ 大矢 幸弘 さん

エコチル調査メディカルサポートセンター長
国立成育医療研究センター アレルギーセンター センター長

講演2

小児科医でアレルギーが専門。疫学や行動医学を研究と診療に応用している。エコチル調査の質問票や医学的検査の開発を行うメディカルサポートセンターを率いている。名古屋大学医学部卒業、同小児科、国立名古屋病院小児科、国立小児病院アレルギー科、国立成育医療センターの初代アレルギー科医長を経て、現職。

た に ぐ ち よ う へ い 谷口 洋平 さん

エコチル調査兵庫ユニットセンター
兵庫医科大学医学部小児科学助教

講演2

2013年に兵庫医科大学を卒業、2年間の臨床研修を経て、2015年に兵庫医科大学小児科に入局。2017年からの2年間は東京女子医科大学腎臓小児科へ国内留学し、先天性腎尿路奇形や末期腎不全への腎代替療法など小児腎臓疾患の診療に携わる。2019年からは兵庫医科大学小児科に戻り、小児腎臓疾患の診療に携わりながら、小児腎臓疾患の研究に注力。

お お く ぼ ひ と み 大久保 公美 さん

国立環境研究所エコチル調査コアセンター
日本学術振興会 特別研究員 RPD

講演2

専門は栄養疫学、公衆衛生学。胎生期から高齢期に至るすべてのライフコースにおける「食事（食べている物や食べ方）と健康」との関連をテーマに研究を行っている。徳島大学医学部栄養学科卒業。東京大学大学院医学系研究科で博士学位取得後、英国サウサンプトン大学 MRC Lifecourse Epidemiology Unit 客員研究員、国立保健医療科学院主任研究官を経て、2022年より現職。

や ま が た ぜ ん た ろ う 山縣 然太朗 さん

エコチル調査甲信ユニットセンター長
エコチル調査参加者コミュニケーション専門委員会委員長、エコチル調査戦略広報委員会委員長
山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座教授

パネルディスカッション

専門は公衆衛生学、疫学、人類遺伝学。社会医学系専門医・指導医。地域で35年間に及ぶ出生コホート研究、20年間継続中の高齢者コホート研究を実施中。研究ガバナンス、先端科学と社会との接点も研究テーマ。山梨医科大学卒業。米国カリフォルニア大学アーバイン校(UCI)小児科学講座留学などを経て現職。こども家庭庁審議会委員、成育基本法の成育医療等分科会副座長など国の各種委員。「研究は住民に始まり住民に終わる」がモットー。

か み じ ま み ち ひ ろ 上島 通浩 さん

エコチル調査愛知ユニットセンター長
エコチル調査運営委員会委員長
名古屋市立大学大学院医学研究科環境労働衛生学准教授

パネルディスカッション

専門は衛生学。化学物質による健康リスクの解明をテーマに研究を行っている。エコチル調査では愛知ユニットセンター長、エコチル調査運営委員会委員長を、また、他に環境省中央環境審議会専門委員等も務める。東北大学医学部を卒業後、米国カリフォルニア大学バークレー校自然資源学部環境科学政策管理学講座客員研究員、名古屋大学大学院医学研究科環境労働衛生学准教授などを経て、現職。

や ま ざ き し ん 山崎 新 さん

国立環境研究所エコチル調査コアセンター長

パネルディスカッション

エコチル調査全体の運営を行うコアセンター長。エコチル調査の研究計画の調整や実施上の様々な課題の解決に日々尽力している。瞑想は欠かせない。長く大気汚染の疫学研究にたずさわる。京都大学工学部衛生工学科卒業。京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻准教授、国立環境研究所環境疫学研究室長、同環境リスク・健康研究センター副センター長を経て、現職。

や ま も と み ど り 山本 緑 さん

エコチル調査千葉ユニットセンター副センター長
千葉大学予防医学センター助教

パネルディスカッション

専門は小児環境疫学、研究倫理学。薬剤師、疫学専門家、ゲノムメディカルリサーチコーディネーター。環境化学物質や生活習慣と子どもの発育・発達との関連についての研究のほか、調査参加者の参加意識についての研究を行っている。千葉大学薬学部、同大学院薬学研究科、同大学院医学薬学府（医学領域）卒業。製薬会社、同大学院医学研究院公衆衛生学の特任研究員等を経て現職。

視聴者アンケート

<https://enquete.cc/q/ecochil-sympo2024>

アンケート受付期間

受付開始 ▶ 2月18日(日)シンポジウム当日

受付終了 ▶ 2月26日(月)12:00 まで

